

地名とまちづくりを考える「第5回方言漢字サミット -漢字から生活文化を確認しよう！-



実施者：八潮の地名から学ぶ会

助成事業名：地名とまちづくりを考える「第5回方言漢字サミット-漢字から生活文化を確認しよう！-

社会や地域の課題

長く地域で育まれた有形・無形の文化遺産について、人々の生業や生活様式の変化に伴い消滅の可能性が高まっています。加えて、市民が地域文化に触れる機会は少なく、その意義を考える機会も減ってきています。

地名は無形の文化遺産ですが、そのように認識されることが少なく、軽んじられる傾向が強い為、意味を含まない記号のような町名（街区名称）に変更される例が後を絶ちません。

取組概要及び成果

言葉、文字は文化の最たるものであり、方言は地域の歴史・文化の象徴です。テーマに据える「方言漢字」は書き言葉の方言であり、それを考察することは地域の歴史・文化に触れる好機となります。

また、地名は地域文化の象徴であり文化遺産です。「方言漢字」の宝庫でもあり、地域の歴史・文化を学ぶには格好の素材です。

「方言漢字」を取り上げたことで、市民が地域文化の意義を考える機会となりました。加えて、地名の意義を理解することにもつながりました。結果として、当会の活動方針「地名を残して学び、まちづくりの資産として活用する」ことに合点がいったことでしょうか。当会への入会希望が多数ありました。

多くの参加者が集い、地域文化の象徴である「方言漢字」、及び地名を考察し、その意義を認識することが出来ました。（参加者数133人）